

平成24年度決算に係る
定期監査調書

平成25年6月

倉吉総合看護専門学校

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	5 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	5 頁
11	不納欠損額調べ	5 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	5 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	6 頁
14	財産に関する調べ	6 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	7 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	7 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	7 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	8 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	8 頁
20	備品の処分状況調べ	8 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	8 頁
22	当該年度における業務の概要	9 頁
23	学生の入退学等移動状況調べ	12 頁
24	学校卒業者の就職等状況調べ	13 頁
25	教育計画とその実績	13 頁
26	主な施設の整備状況調べ	13 頁
27	意見、要望	13 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局（所）名	課名	係（班）名	課の主な所掌事務
倉吉総合看護専門学校			看護師・助産師として必要な知識及び技能を習得させるための事務

4 職員の定員、現員調べ

（平成25年 4月 1日現在）

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	
	定員	2	2	20	19	0	0	22	21	
	現員	2	2	20	19 (1)	0	0	22	21	
	過不足(Δ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非常勤職員	0	0	25	27	0	0	25	27	外部講師25

5 役付職員の調べ

（平成25年 6月 1日現在）

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
校長	(兼) 井藤 久雄	0	2	本務 厚生病院長
副校長	会見加代子	0	2	6年2月
教務課長兼教務主幹	大石由美子	0	2	11年2月
次長	(兼) 谷本 真二	3	2	出納員 保育専門学校次長及び中部療育園次長兼務
教務主幹	初田 玲子	1	2	
教務主幹	古磯 祥子	0	2	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>倉吉総合看護専門学校費</p> <p>決算額 32,968千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>使用料及び手数料 17,298千円</p> <p>一般財源 15,635千円</p> <p>その他 35千円</p> <p>○政策項目 学生の確保</p>	<p>1 学校のPR・学生の確保</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 看護職員不足が深刻化する中、一人でも多くの看護職員を養成するため、県民に学校の存在や魅力をPRすると共に優秀な入学志願者の募集に力を入れ、入学定員の確実な確保を図る。</p> <p>(イ)事業の実施状況 ○オープンキャンパスを開催した。 2回 参加者数 135名 ○本校PRのため県内高等学校・看護学校等の訪問を実施した。 施設数 21施設 ○高等学校等で実施の進学相談会に参加しPRを行った。 3回 参加者数 36名 ○社会人入学制度のPRのため、関係団体や医療機関への訪問・通知を実施した。 医師会報・看護協会報への掲載 病院・産科婦人科を標榜する医療機関への通知 70施設 ○助産学科学生による母親・小学校・高等学校への健康教育を実施した。19回</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ○学校の教育内容や魅力を積極的にPRするために、HPを刷新した。さらに、学校評価と授業評価を掲載した。 ○鳥取県内への就業を定着させるために、社会人入試の受験資格を「県内に在住する者」とした。 ○第1看護学科の定員確保のために、依頼のあった中学校、高等学校の進路説明会に講師や在校生を派遣した。</p> <p>ウ 成果 ○第1看護学科は、優秀な推薦者18名を確保した。 一般入学試験の受験者は、前年度と比較し、19名(82名→101名)増加し、学科試験平均点も上昇した。平成25年度の定員35名の確保ができた。 ○助産学科は、受験者が減少(46名→28名)したが、県内出身者の受験者数は維持した。推薦入試、社会人入試の県内応募者が少ない。 ○助産学科学生による健康教育では、学校の存在を周知できたと共に、これからの世代を担う小学生に命の大切さを伝えることができ、学校教員からも良い評価を得ている。 ○中学生を対象とした講義では学校の存在を周知できたと共に、看護職者が活動する場を広める機会となった。</p> <p>エ 課題 ○県内助産師の就業を確保するために、募集方法を検討する必要がある。 ○優秀な学生を確保するために、少人数制で、手厚い指導が実施できる当校のメリットについて、様々な方法や機会を捉えて小学生・中学生・高校生等へPRを行っていく必要がある。 ○テレビやホームページ等の媒体を活用したPRが効果的であるため、県医療政策課と協働して、看護学校への進学促進を図っていく必要がある。</p>	
<p>○政策項目 教育の質の向上</p>	<p>2 新カリキュラム(看護学科)に伴う教育内容の効果的実践</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 平成21年4月からの保健師助産師看護師学校養成所指定規則に伴い、新カリキュラムを構築し、昨年度に引き続いて看護実践力向上に重点を置き「客観的臨床能力試験」「医療安全教育」「統合実習」を実施し教育内容の充実・強化を図る。</p>	

事業名	概要
	<p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○客観的臨床能力試験（OSCE試験）の充実 平成22年度から、患者に安全の確保と気遣いをしながら日常生活援助や診療補助技術が提供できるよう、先駆的なOSCE試験を実施した。OSCEⅠは、到達度を確認した上で臨床実習に臨ませた。OSCE試験Ⅱは、最高学年に実施し、到達度を確認した。 ○医療安全学習の充実 安全な看護を提供できる判断力や実践力を養うために、地域住民に模擬患者を依頼（8名）し、多重課題・業務中断の条件下で安全に看護を提供できる演習に取り組んだ。 ○統合実習の充実 卒後スムーズに臨床現場に適応するために、チームで複数の患者を受持ち、優先度の決定、時間管理が修得できるように、「統合実習(90時間)」の実習方法等を実習施設と協議し、取り組んだ。 <p>イ 平成24年度の実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○統合実習については、臨床実践能力の有効性を検証するために、卒業生を対象としたアンケート調査を実施した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○OSCE試験に参加した多くの学生から、「臨床現場に役立つ」「自己の課題が明らかになった」と、その効果を認める回答があった。 評価基準については、見直しが必要となった。 ○医療安全の演習は、学生や模擬患者役の住民から「臨床での場を想定しており卒後に役立つ」と良い評価を得た。 ○統合実習は、学生と臨床指導者から「臨床に近い形での実習方法で、報告・連絡・相談等、チーム医療に役立つ」と好評を得ている。卒業生を対象としたアンケート調査はまとめの段階である。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○更なる教育内容の充実に向けて、各実習施設と綿密な連携を図り、効果的な実習が展開できるように課題を整理し、改善していくことが必要である。

7 収入証紙取扱額調べ

(平成25年 5月31日現在)

目	収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
	節	細節				
衛生手数料	衛生手数料	看護師等養成施設試験手数料	221	円 2,600	円 574,600	平成25年度入試 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 52名 100名 48名
		看護師等養成施設入学料	71	5,550	394,050	平成24年度入学 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 16名 35名 20名
		看護師等養成施設卒業証明書 発行手数料	27	420	11,340	
	目計		319		979,990	
	合計		319		979,990	

8 収入事務処理状況調べ

- (1) 分担金及び負担金 該当なし
 (2) 使用料

(平成25年 5月31日現在) (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
衛生使用料	倉吉総合看護 専門学校授業料		1,682	16,318,400	16,318,400		0	看護師等養成施設 設置条例第4条	
			1,682	16,318,400	16,318,400		0		
		合計	1,682	16,318,400	16,318,400		0		

- (3) 手数料 該当なし
 (4) 財産収入 該当なし
 (5) 諸収入

(平成25年5月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入	雑入	本人負担分雇用保険料	29	35,047	35,047	0	0		
		目計	29	35,047	35,047	0	0		
		合計	29	35,047	35,047	0	0		

- (6) 現金の取扱状況 該当なし

- 9 収入未済額調べ 該当なし
- 10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし
- 11 不納欠損額調べ 該当なし
- 12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成25年 5月31日現在)
(単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	(支出年月日) 支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要領 等を含む)	備考
倉吉総合看護専 門学校費	160,000	全国助産師教育 協議会年会費	一般社団法人 全国助産師教育協議会	定額	(H24.4.20) 100,000	一般社団法人 全国助産師教育協議会定款	
支出金額が10万 円未満のもの					399,625		
目計					499,625		
合計					499,625		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成25年 5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国単 別の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 格 格 格	初 期 期 期	契 約 額 額	契 約 期 期	契 約 期 期	契 約 期 期	契 約 期 期	契 約 期 期	支出の状況			備考	
												了 日	完 了 日	支 出 日		支 出 日
(倉吉総合看護 専門学校費) 予定価格が 20万円未満															166,271	
目計															166,271	
合計															166,271	

13 工事請負費調べ
該 当 な し

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産 該 当 な し
ア 土地
イ 建物

(平成25年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末			本年度異動状況			差引		備考	
			目計面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)
行政財産	本館	倉吉市南昭和町15	974.50	101,144,000		H		974.50	101,144,000			
	大会議室・浴槽・機械室	"	314.19	34,692,000		H		314.19	34,692,000			
	寄宿舍	"	1,520.93	167,558,000		H		1,520.93	167,558,000			
	物干場	"	54.00	748,000		H		54.00	748,000			
	アパングラス庫・機械室	"	14.40	360,000		H		14.40	360,000			
	自転車置場	"	13.50	510,000		H		13.50	510,000			
	体育館	"	245.29	25,266,225		H		245.29	25,266,225			
	渡り廊下	"	18.14	-		H		18.14	-			価額は、体育館価額に含まれる。
	実習棟	"	395.38	68,847,043				395.38	68,847,043			
	渡り廊下	"	17.20					17.20				価額は、実習棟価額に含まれる。
計			3,567.53	399,125,268				3,567.53	399,125,268			
普通財産			0.00			H		0.00				
計						H						
合計			3,567.53	399,125,268				3,567.53	399,125,268			

ウ 山林 該当なし 該当なし
 エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
 オ 物権 該当なし
 カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
 キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況
 ア 金券の受払状況

(平成25年 3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		差引	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び 郵便はがき	74,430 円	195,980	217,530	52,880	
合計	74,430	195,980	217,530	52,880	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成25年 3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度中		差引未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
72枚	250枚	235枚 220,210円	87枚

(3) 債権 該当なし

- 15 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし
 (1) 土地及び建物 該当なし
 ア 土地 該当なし
 イ 建物 該当なし
 (2) 物品 該当なし
 16 借受不動産明細調べ 該当なし
 17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
 (1) 職員住宅 該当なし
 (2) 職員駐車場 該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成25年 3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	取得年月日	耐用年数	取得価格	不決年月日	用品としない理由	処分の理由			処分年月日	処分額・処分費用 円	備考
							売却の別	売却・棄却の理由	処分方法			
ノートパソコン	2	H18.6.20	年 6	213,360 円	H24.10.16	修理が不能ため	売却	売却が不能ため	H24.10.16	-		
合 計				213,360						-		

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

看護専門学校個別事項

2.2 当該年度における業務の概要

(1) 学校のPR、地域貢献（主な事業に記載）

学校のPR、地域貢献を積極的に行い、学生の確保を図る。

- オープンキャンパスの実施 2回 参加者135名
- 県内高校・看護学校へ学校PRのための訪問を実施 施設数 21施設
- 医師会、看護協会、医療機関等への社会人入学制度PRのための通知を実施
- 進学相談会等への参加 3回 参加者数 36名
- 助産学科学生による地域住民への健康教育の実施
 - 小学校6年生 2回 参加者数 45名
 - 子育て支援センター（母親等） 16回 参加者数 240名
 - 妊産婦フォーラム(妊娠中の父母等) 1回 参加者数 36名

志願者数（推薦・社会人含む）

（ ）内は定員

年度	助産学科	第1看護学科	第2看護学科
20	61 (20)	102 (25)	42 (20)
21	43 (16)	76 (25)	35 (20)
22	60 (16)	114 (25)	42 (20)
23	43 (16)	125 (35)	31 (20)
24	52 (16)	100 (35)	48 (20)
25	38 (16)	133 (35)	47 (20)

※平成21年度から助産学科(助産師課程)を新設し、定員を変更(定員20名→16名)

※平成23年度から第1看護学科を定員増(定員25名→35名)

推薦入学・社会人入学の状況

学 科	推薦入学試験			社会人入学試験		
	募集数	推薦者	合格者	募集数	志願者	合格者
助産学科	6	2	2	3	2	2
第1看護学科	18	22	18	—	—	—
第2看護学科	3	3	3	3	2	0

(2) 教育環境の整備

寄宿舎の冷暖房設備等の諸整備を図るため、平成23年度2月補正で予算要求を実施し、予算確保を行った。

平成24年度工事を着手、完成した。

○工事内容：個室(61室)、集会所、管理人室、休養室の冷暖房化

台所ガスコンロを電磁調理器に入れ替え、各階個室を補食室に改修

(3) 看護教育の充実

新たに導入した教育内容の充実を図る。

○全ての学科において、平成23年度から新カリキュラムに移行。(主な事業に記載)

1) 看護学科

* 客観的臨床能力試験(OSCE)の導入

患者に安全と気遣いをしながら日常生活援助が提供できるようOSCEを計画・実施した。

* 安全な看護を提供できる判断力や実践力を養うために医療安全の学習内容を「看護の統合と実践」の科目に位置づけ、実施した。

* 卒後スムーズに臨床現場に適應するために、チームで複数患者受持ち、優先度の決定、時間管理が修得できるように「統合実習(90時間)」を計画・実施した。

2) 助産学科

* 学校の地域貢献と学生の実践力の強化のために、子育て支援センターに来所する母親に対して、育児知識等の健康教育や相談を実施した。

* 全国の助産師学校でも取り組みが少ない思春期の学童(小学校)や高校生を対象にした「命の教育」を実践した。

○全国的に注目されている講師を招いて魅力ある授業を実施し、学生の専門職としての意識や満足度を高める。

看護学科 日程 平成25年2月20日
講演 「看護とアウトリーチ」
講師 聖路加看護大学 教授 萱間真美

助産学科 日程 平成25年1月10日
講演 「DVが健康に及ぼす影響－医療従事者ができること－」
講師 神戸市看護大学助産学専攻科 教授 高田昌代

(4) 実習体制の整備

実習体制を整備し、教育内容の充実を図る。

○今年度新たに開拓した実習施設(第2看護学科:鳥取赤十字病院・鳥取県立中央病院等)での実習がスムーズにできるように前年度から実習計画・実習配置等を検討した。

○実習指導者会の活性化と、実習指導者と教員の連絡調整をきめ細かく実施した。

○実習施設や実習指導者の教育への理解を深めるために、実習施設等の研修への協力を積極的に行った。

(5) 国家試験対策の強化

○国家試験対策として、特別授業や模擬試験を実施し、知識の定着とエビデンス(科学的根拠)の強化を図る。

【参考:平成24年度国家試験合格状況】

学 科	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	全国合格率(%)
助 産 学 科	16	16	100.0	98.1
第1看護学科	20	20	100.0	88.8
第2看護学科	20	20	100.0	

(6) その他の教育

○人権教育の実施(看護学科)

ア 研修旅行(7/4~7/5) 長島愛生園、人と防災未来センター見学

イ 人権関係講義の実施

○専門的学術集会等への参加(助産学科)

ア 第53回日本母性衛生学会学術集会参加(11/16~11/17) 福岡市

イ 第31回鳥取県母性衛生学会学術講演会参加(1/24) 鳥取県健康会館

(7) スクールカウンセラーの配置(平成19年度から配置)

毎週月曜日 午後4時~5時30分 利用者数 実人員 18人 延べ28人(H25.3.31現在)

(8) 教員研修の実施

テーマ:「今どきの思春期臨床と学生指導」

ねらい:現代の学生の心理的特徴とその背景を理解し、学生への関わりで考慮すべき視点を理解する。

日 時:平成24年5月22日

講師：島根大学教育学部心理・発達臨床講座 教授 岩宮 恵子
参加者：専任教員と実習指導者 71名

(9) 教員の研究活動等

- ①鳥取県実習指導者養成講習会 講師
講 義：教務部長 会見加代子、教務主幹 初田玲子、教務主任 西川淳子、講師 徳田倫枝
グループワーク：講師 渋谷さおり、講師 岡本志保
日時・場所：平成24年6月27日～8月24日 鳥取県看護協会
- ②鳥取県立厚生病院ラダー研修 講師
講 師：教務部長 会見加代子
テーマ：「ヘンダーソンの看護理論」
日時・場所：平成24年5月16日 平成24年5月30日 鳥取県立厚生病院
- ③鳥取県立厚生病院ラダー研修 講師
講 師：教務主幹 初田玲子
テーマ：「臨床実習における学生指導」
日時・場所：平成24年7月12日 鳥取県立厚生病院
- ④鳥取県立中央病院 看護研究支援者
講 師：教務主幹 初田玲子
- ⑤看護教員実力アップセミナーパネリスト
講 師：教務部長 会見加代子
テーマ：「統合実習の実際－チームで協働する看護者の育成を目指して－」
日時・場所：平成24年8月19日 オーバル 大阪
平成24年8月26日 J A 共済ビルカンファレンスホール 東京
- ⑥学校第三者評価委員
委 員：教務部長 会見加代子
対象校：米子医療センター附属看護学校
日時・場所：平成24年11月30日 米子医療センター附属看護学校
- ⑦倉西きらりアクションプラン 講師
講 師：講師 岡本志保
テーマ：「看護について」
日時・場所：平成24年4月19日 倉吉西高等学校
- ⑧進路講習会講師
講 師：講師 尾田 恵
テーマ：「社会人に学ぶ-看護師の仕事-」
日時・場所：平成25年2月18日 北栄町立大栄中学校
- ⑨看護教員実習受け入れ
日時：平成24年11月19日～12月7日
対象者：看護教員養成課程研修生1名

23 学生の入退学等移動状況調べ

(単位：人) (平成25年 3月31日現在)

区分	入学進級 直後の 学生数	月 別 異 動 状 況														差引 現在数	備考		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計					
第1看護学科	第1学年 休学 退学 復学 除籍	新入生 35	1												1	2	33		
	第2学年 休学 退学 復学 除籍	進級後 35 復学予定者 1															1	36	
	第3学年 休学 退学 復学 除籍	進級後 22			1					1							2	21	
										1						1			
第2看護学科	第1学年 休学 退学 復学 除籍	新入生 20				1										1	19		
	第2学年 休学 退学 復学 除籍	進級後 20																20	
助産学科	休学 退学 復学 除籍	新入生 16												1		1	16		
			休学者 1																
合計	休学 退学 復学 除籍	新入・進級者 150	1		1				1						1	4	145		
						1			1		1				3				
			1												1				

24 学校卒業者の就職等状況調べ

(単位：人) (平成25年 3月31日現在)

区 分		就 職						進 学	其 他	合 計	備 考
		県 内			県 外						
		公的医 療機関	民間医 療機関	その他	公的医 療機関	民間医 療機関	その他				
第1 看護 学科	平成22年度	17	5	—	—	1	—	23	2	—	25
	平成23年度	13	6	—	1	—	—	20	3	—	23
	平成24年度	10	5	—	—	—	—	15	5	—	20
第2 看護 学科	平成22年度	6	11	—	—	1	—	18	1	—	19
	平成23年度	7	12	—	—	1	—	20	1	—	21
	平成24年度	10	9	—	—	1	—	20	—	—	20
助産 学科	平成22年度	7	1	—	2	6	—	16	—	—	16
	平成23年度	5	2	—	3	5	—	15	—	—	15
	平成24年度	8	—	—	4	3	—	15	—	1	16
合計	平成22年度	30	17	—	2	8	—	57	3	—	60
	平成23年度	25	20	—	4	6	—	55	4	—	59
	平成24年度	28	14	—	4	4	—	50	5	1	56

25 教育計画とその実績

(単位：時間) (平成24年 3月31日現在)

学 科 名 等	基準	第 1 学 年		第 2 学 年			第 3 学 年			
		計 画	実 績 A	計 画	実 績 B	計 A+B	計 画	実 績 C	計 A+B+C	
第1看 護学科	第1学年	学 科	990	1,006	1,013					
		実習課程	135	135	135					
	第2学年	学 科	750		750	750	1,763			
		実習課程	315		315	315	450			
	第3学年	学 科	225					225	236	1,999
実習課程		585					585	585	1,035	
第2看 護学科	第1学年	学 科	1,185	1,185	1,189					
		実習課程	135	135	135					
	第2学年	学 科	285		285	296	1,485			
		実習課程	585		585	585	720			
助 産 学 科	学 科	600	615	683						
	実 習 課 程	495	620	596						

* 基準欄の数値は学則で定めた時間

26 主な施設の整備状況調べ 該 当 な し

27 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

○第1看護学科の定員増により、平成25年度には第1看護学科の学生が全体で30名増加した。また、定員増となった学生の本格的な実習が開始した。第1看護学科の講師1名が定数増となったが、奨学金や修学資金の手続き、外部講師謝金の支出負担行為の起案、図書室の管理、寮の管理等の多くの教務事務を担っている。今後は、教員が教育に専念できる体制を整えていただきたい。

(2) 監査委員事務局に対する要望等 該 当 な し